

全国協通信

合同・一般労働組合全国協議会
東京都葛飾区新小岩2-8-8-203東部ユニオン内
03-6231-5031 携帯080-6494-7243
info@godoroso-zenkokukyo.org

2013年
3月9日
第4号

3月決戦の爆発で、階級的労働運動の本格的前進へ！ 全国協の前半戦決戦=300名会員拡大へ総決起しよう！

1. 3月決戦を、労働者階級の怒りと結合して闘おう！

3月決戦を闘う全国協の核心は、労働者階級人民の全国津々浦々にあふれる怒りとの結合である。

もはや、今の現実をひとつたりとも許すわけにはいかない。見るもの聞くもの全てについてである。青年労働者の現実はどうなのか。今の状態で、未来はあるのか。否、すでに今日も明日も、もはや何もかもが奪われている。このなかで、次々と青年労働者が殺されている。

そして、この現実、資本による労働者への徹底的な搾取によって起きている。その典型が、労働時間の無制限の延長だ。一体、資本家どもは、労働者を何時間働かせれば気がすむというのか。奴らは、労働者を買いついたら、死ぬまで働かせる、使えなくなったら捨てて買いかえれば良いと思っている。しかも、この関係を合法化するシステムをつくりあげ、支配しつくすことを狙っている。「追い出し部屋」や「マクド難民」との表現が飛びかうが、ふざけるな！と言いたい。

3・3青年労働者集会での語られた内容は、新自由主義攻撃直下の青年労働者の現実を突き出すものとしてあった。7年間働いてきた職場、自らの青春の一切が込められた職場、あちこちぶつかりながら、だけど大切に歩いてきて、人生をかけて仲間と共同してつくりあげてきた職場・・・、今ここからたたき出されようとしている。ここに直面した青年労働者の訴えが心にひびく。そして、当該からの決起が宣言された。

全国協は、これと固く結合して闘うこと、これが200万青年労働者と一体となる道である。

2. 3～4月雇い止め攻撃の開始と全国協の闘い

3月決戦は、職場闘争が資本・当局と激突するものとして荒々しく始まった。これは、資本との本格的決戦の開始であり、全国協のひとつの正念場としてある。

まず、諸集会への権力配備の強化がある。

2・17国鉄集会～3・1ピキニデー集会～3・3青年集会への体制はこれまでを上回るものとなっている。渋谷暴動の朝日新聞記事と新潟弾圧（交流センター・合同労組つづしの攻撃）と一体であり、階級的労働運



動の発展に恐怖する日帝・資本の危機の現れである。

それから、職場権力をめぐる党派闘争が始まっている。

体制内労働運動の瓦解

その労働者支配の崩壊となって進み、職場の権力攻防が階級的労働運動の攻勢を軸に展開されている。連合と全労連支配の後退と崩壊が、ぶつかることをもってそのすかさず性をさらけだすものとなっている。

これは、動労千葉を先頭とする国鉄決戦の切り開いた地平であり、鈴コン分会の闘いを突破口に、全国首都圏で職場闘争を闘いぬいてきたことが大きい。そして、ジェコー・ショーワ闘争は、労働者派遣法との闘いをもって、200万青年労働者と固く結合する展望を切り開くものとなっている。

3. 3月決戦の軸に国鉄署名運動をすえて、全国協1000名建設へ

動労千葉3月決戦の核心は、労働者を分断し団結を破壊することへの怒りの決起である。これは、国鉄分割民営化におけるクビ切りという不当労働行為を、国鉄改革法23条をタテに「JRと旧国鉄は別」と開き直り、団結権を解体してきたこと、この論法が、今日の外注化攻撃にいまなお貫かれていることにある。

さらに、それはこの間のジェコー・ショーワの反動判決・反動命令において、派遣先と派遣元は別で、派遣先には労組法7条の「使用者性」はない、というやり方で非正規労働者から団結権を奪った攻撃と同質なのである。

全国協は、今こそ「1047名解雇撤回・JR復帰」を掲げて闘う国鉄全国運動の先頭に立ち、この署名運動の展開を通して、全国協1000名建設を勝ちとろう。

具体的には、職場、組合回り、街宣の3つの展開であり、うち組合回りは、1047名支援陣形・動労千葉物販・新たな職場訪問であり、街宣は地区を軸に統一街宣方式で闘おう。

全国協の1000名建設は、6・9国鉄集会に全国300名拡大をもって結集し、10月大会で1000名建設を勝ちとるとのことである。

鈴コン闘争速報

賃金仮払い1年延長決定！

3月6日、東京地裁民事11部で、賃金仮払い1年延長決定！
団結の勝利です。解雇撤回・非正規職撤廃！13春闘へ前進しよう！

いわき合同ユニオン結成大会報告

2月23日、福島県いわき市にて、動労水戸平支部事務所開設1周年の記念集会と併せて、私たちいわき合同ユニオンの結成大会を行いました。当日は動労水戸組合員をはじめ、地元いわきからも多数の労働者・市民に来ていただき、ユニオンの事務所としてもお借りすることになる平支部事務所をいっばいにしての集会となりました。

青年労働者が結成アピール

一周年を迎えるにあたっての挨拶を門馬高弘支部長が行ったのち、いわき合同ユニオン結成の決意表明を副委員長に就任する化学労働者の青年が述べました。「被災地・いわきにおいて、原発労働者をは

じめとする様々な職種の労働者が、職場を越えて地域で闘う拠点となるべく合同労組を結成する」との力強い



アピールに、全参加者が奮い立つ思いでした。

三役が団結ガンバロー

委員長に就任する動労水戸平支部の川俣辰彦さんの挨拶と乾杯の音頭ののち、来賓の方々より挨拶を受け、最後にユニオン結成を満場の拍手で承認し、三役そろっての団結ガンバローで集会を締めくくりました。

(いわき合同ユニオン書記長 西納岳史)

鈴コン分会迎え春闘総決起集会—広島連帯ユニオン



2月23日、東京西部ユニオン鈴木コン分会を迎えて、13春闘総決起集会を開催し60名が結集しました。

広島連帯ユニオン鈴木委員長の開会あいさつに続いて、3月19日の出獄を間近にした中山さんのメッセージ、「13春闘アピール」をうけました。

鈴コン分会が挨拶

特別報告に立った吉本さんと鈴木さんは、非正規

職が労働組合を作りストライキで解雇されながらも「絶対に負けるわけにはいかない」と共闘会議を結成して闘っていることを活き活きと語りました。

ユニオンからは推進機構支部・草津病院支部・青年部が、正規 非正規の分断を越え労働者の立場に立ちきって闘いを前進させていることを報告、広島労組交流センター大江代表のまとめと団結ガンバローで集会を締めくくりました。

鈴コンと広島が一つに！

集会前日に広島入りした鈴コン分会の仲間は、2コースに分かれて組合まわりを行い、夕方からは交流会。集会前には、鈴コン分会の仲間と定例の鈴コン街宣を行うなど大活躍。ついに鈴コンと広島の闘いが一つに結びつきました。

闘争すけじゅーる

鈴コン闘争

裁判

3月13日(水) 本訴調査、13時10分632号法廷

労働委員会闘争審問

5月31日(金) 都庁34階、13時30分吉本証人発言

団体交渉

3月22日(金) 春闘団交—18時30分開始。舟渡ホール

郵政非正規ユニオン

労働委員会 3月14日(木) 13:30 都庁34階

郵政春闘集会 3月23日(土) 18:30 ばる〜ん305

ショーワ・ジェコー闘争

4・26ショーワ・ジェコー弾劾全国闘争

4月26日(金) 12:00ショーワ行田本社工場正門前

ジェコー裁判 5月14日(火)